

## 製薬業界に

# Digital Transformationを！

## <AI-OCRソリューション>

ビジネス文  
書を価値あ  
るものに

あらゆるド  
キュメント  
に対応

ABBYY社  
とのアライ  
アンス

### サービスの特長

### Merits of the Service

#### AI-OCRによるコンテンツ インテリジェンスの実現

#### Point

1.

#### 社内の膨大なビジネス文書から価値あるコンテンツとしての活用を支援

- ・ 最新のデジタル技術であるAI-OCRにより、様々な種類の文書や帳票からテキスト情報を抽出
- ・ AI技術により、固定帳票だけでなく、非定型帳票や可変帳票へも対応
- ・ PoCによる検証、要件定義から設計・導入、その後の維持・運用までトータルでサポート

#### Point

2.

#### 運用サービスを通して培って来た製薬業務及び実務経験をAI-OCRの適用に活用

- ・ 製薬業界で利用されている様式やフォームの理解をコンテンツ抽出の文書定義に活用
- ・ 製薬業務/実務の経験を活かして、抽出したビジネスコンテンツの価値ある利用を提案
- ・ 製薬業界特有のCSV対象の領域においても、バリデーション実施経験を提供可能

#### Point

3.

#### RPAとの連携により、自動化ソリューションのサポート範囲を拡大

- ・ AI-OCRで抽出したビジネスコンテンツをRPAを活用し業務システムへ入力を実現
- ・ 入力源である業務文書や帳票の仕訳・保管・抽出・活用を自動化
- ・ AI-OCRとRPAの連携に関する要件整理から設計・開発・検証までの実施を提携

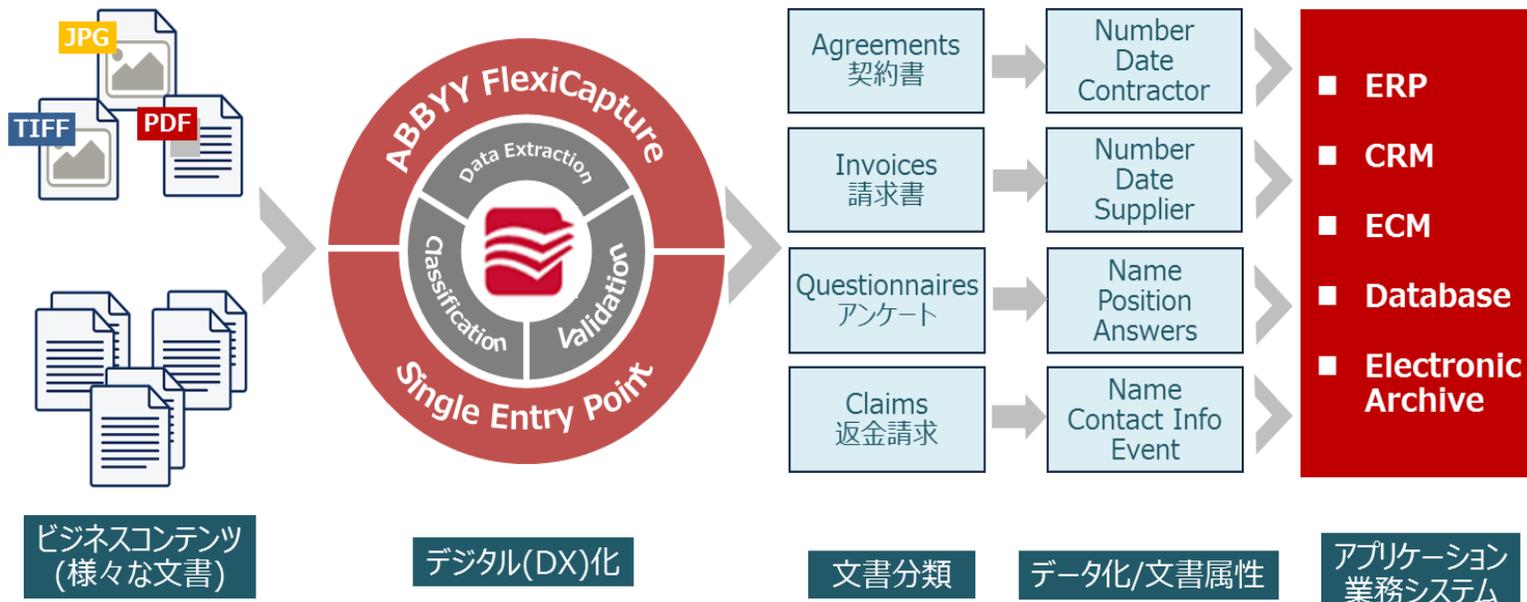
#### Point

4.

#### ABBYY社とのアライアンスによるAI-OCRソリューションの提供

- ・ 日立医薬情報ソリューションズは、ABBYY社の認定パートナーです。
- ・ ABBYY社が提供するAI-OCR製品(ABBYY® FlexiCapture®)の再販及び導入/運用を行います。
- ・ ABBYY社から最新の製品情報や技術情報の提供を受けています。

- ABBYY® FlexiCapture®は、簡単な定型帳票から複雑な非定型帳票までAI-OCR技術を活用して精度の高い文字認識を実現したコンテンツインテリジェントプラットフォームです。
- ABBYY® FlexiCapture®は、①高い認識率、②非定型帳票及び可変帳票への対応、③AI利用による学習機能が特徴であり、多くのスキャナー機器/複合機メーカーで採用されています。



## ABBYY社とのパートナーシップ

## Partnership

- 日立医薬情報ソリューションズは、ABBYY社と認定パートナー契約を締結しています。



ABBYY® FlexiCapture®は、ABBYY Software Ltd.の登録商標あるいは商標です。

## サービス内容

## Contents of the Service

- 各サービスメニューで実施するサービス内容は、お客様の業務に合わせた最適なサービスを提供します。

サービスメニュー	サービス内容
AI-OCR PoCサービス	業務文書や帳票に記載された情報をAI-OCRを活用して抽出し、仮説に基づいて有益性の検証を行うPoCの実施を支援します。また、更なる業務の自動化に向けて、RPAとの連携を含めたPoC実施もサポートします。
AI-OCR コンサルテーションサービス	対象となる業務文書や帳票のレイアウトや記載内容を診断し、AI-OCRによるデータ抽出の可否をアセスメントや技術検証などを通して、業務要件の整理をサポートします。また、GxP領域にAI-OCRを導入する際のバリデーションの検討についてもご支援します。
AI-OCR 導入支援サービス	対象となる業務文書や帳票に対して、AI-OCRで読み取るために必要な設計と文書定義を行います。また、AI-OCRのインストールから読み取り対象のドキュメントホルダーや抽出データの登録ホルダーなどの環境設定を行います。お客様の要望に従って、トレーニングやUATの支援も行います。
RPA連携サービス	AI-OCRを利用して業務文書や帳票からビジネスコンテンツを抽出し、RPAを利用して業務アプリケーションに自動的に入力作業を行うことで業務の効率化を図ることができます。AI-OCRとRPAのシームレスな連携を支援します。
AI-OCR 運用サポートサービス	合意した運用タスク (SOW : Statement Of Work) 、サービスレベル (SLA : Service Level Agreement) に準拠して、AI-OCRの運用を行います。定期的に運用状況を報告し、PDCAサイクルに則って、運用改善を図っていきます。また、エラーハンドリングを含め、導入前に運用マニュアルを整備します。

2021年3月記載

### 株式会社日立医薬情報ソリューションズ

<東京本社>  
〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館19F  
<大阪本社>  
〒530-0005  
大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー

- 記載の内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。
- 記載の製品名は、それぞれの会社の登録商標もしくは商品名です。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理 関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。



お問い合わせ先